

17/11/28 名古屋市議会本会議

<http://www.nagoya-city.stream.jfit.co.jp/>

名古屋市民オンブズマン作成メモ

松井よしのり（自民）

名古屋城天守閣木造復元におけるエレベーターの設置について

名古屋市は 2022 年に天守閣を木造化しようとしているが、

バリアフリーについてはエレベーターを設置しない方針にしたとのこと。

市長は「まだ 4-5 年ある」としつつも、いずれにせよエレベーターを設置しないという。

私のところには高齢者、障害者から大変多く要望をいただいた。

名古屋市に対しては 11/21 に愛知障害フォーラムが要望活動を行い、公開質問状を提出した。

「チェアリフトでは腹筋が弱い人は利用できない。障害者団体の対応が出来ない」といいます。

バリアフリー法では合理的配慮が義務づけられています。

チェアリフトではとても配慮されていません。

市長の「できるだけ史実に忠実に復元したい」という思いはわかりますが、

それを優先するあまり弱者を切り捨てることになってはいけません。

市長の思いをお聞かせ下さい。

河村たかし名古屋市長

木造天守閣のエレベーターについて質問いただきました。

「弱者切り捨て」の思考があるのではないかと言われましたが「まったくない」です。

私も 8 年ちょっと市長をやらせていただいておりますが、常に威張る奴は嫌いです。

納税者のため、弱者とってはなんですが、根本的な思想です。

私は「関係ある人と相談してやれ」と指示していたところです。

松井よしのり（自民）

名古屋城の木造のお城が出来た場合、本丸御殿の面から最上階まで 38.45m になります。

通常の建物だと 13-14 階にあたります。

階段の踏み込み面は、通常 25-6cm のところ 20cm しかありません。

階段の蹴上がり（高さ）は通常 17-8cm のところ 29.4cm もあり、倍近くになります。

勾配は通常 35 度のところ最大 55.7 度にもなり、垂直に近いです。

市長さん、2022 年に完成した場合、頑張って階段で登る自信はありますか？

河村たかし名古屋市長

年食ってどうなるかわからんが、精一杯登る。  
いろんな技術があり、学者やメーカーと相談している。  
今のままではいけない。相談しないといけない。  
関係者の皆さんと相談して方向性を決める。チームを作らないといけない。

松井よしのり（自民）

現在、階段昇降機やチェアリフトを考えているという。  
通常の階段は幅 170cm のところ、木造名古屋城は 120cm と狭い。  
そこに 75cm の昇降機を持ってくるという。  
一般客も大勢来て、大変無理がある。  
史実に忠実とはいえ、高齢者も障害者も子どもも妊婦も来る。  
安心して安全な名古屋城にするには、昇降機よりエレベーターを。  
外付けなどあらゆる考えを検討し、エレベーターも一つの方法として  
考えるおつもりはないか

河村たかし名古屋市長

わしは昇降機と断定していない。現時点では考えていない。  
なぜか新聞に載った。  
試作機を 1-2 年で作るという話もある。  
先々いっぺんよう話しして。  
エレベーターにも課題がある。火災の時は煙どうする？  
大きい奴は入れない。よう話しして。  
わしも歩けなくなるかもしれない。  
子どもさんもいる。  
チームを作ってええ方法を考える。出てきます。必ず。

松井よしのり（自民）

わかったようなわからんような。  
技術開発をすると言うが、せつかく木造で作るなら行って見て登りたい。  
足が悪い、腰が悪い人も来ていただきたい。  
みんなに喜んでいただきたい。